

羽田イノベーションシティのグランドオープンに向けた事業検討状況について

1 令和5(2023)年竣工エリア概要 完成後延床面積:130,233㎡(現状57,731㎡)

➤ ゾーンA(延床面積:約21,000㎡)
先端医療研究センター・滞在施設
(地下1階~10階)

➤ ゾーンB(延床面積:約47,000㎡)
研究開発拠点・物販(1階~6階)

➤ ゾーンC(延床面積:約4,500㎡)
アート&テクノロジーセンター(1階~4階)
※1階は荷捌き場、4階はオフィステナントエリア

➤ その他
駐車場整備150台分(完成後総数427台)
※完成後主な内訳:平面259台、機械式122台、車いす用9台、荷捌き用25台



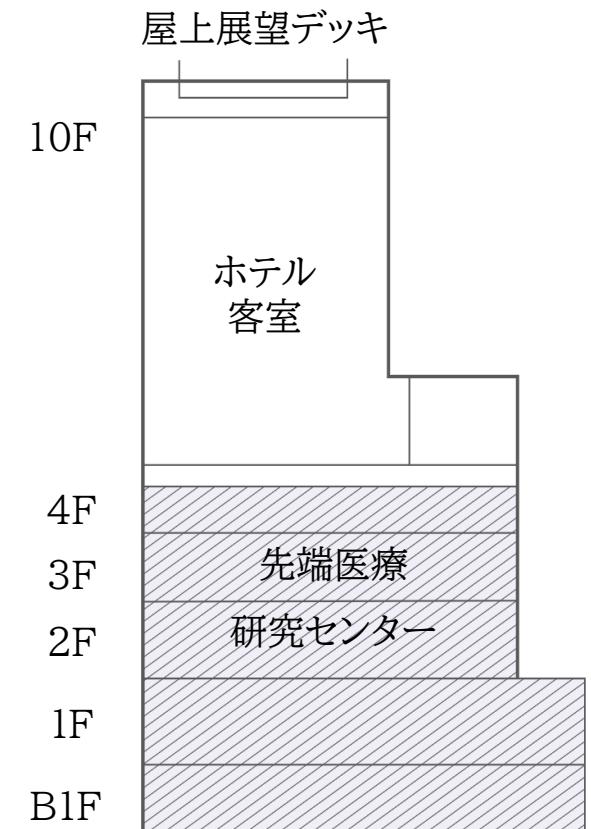
2 グランドオープン時期(予定)

- グランドオープン(セレモニー)は令和5(2023)年10~11月を予定(2023年秋)
※各テナントは、順次開業

3 ゾーンAについて

(1) 先端医療研究センター「藤田医科大学東京 先端医療研究センター」

先端医療	
【がんゲノム】 遺伝子解析を用いたゲノム医療 【再生医療】 再生医療を取り入れた治療 【高度生殖医療】 最新ART治療を取り入れた高度生殖医療 【先端リハビリテーション】 ロボット・最新機器を用いた先端リハビリ	
精密健診／検診	活動長寿
▶ 立位CTによる疾病の予兆診断 ▶ 脳・乳房PET等を用いた高度な画像診断 ▶ 内視鏡とAI診断機の併用によるがんの早期発見	▶ 食事記録アプリなどIT機器の活用 ▶ 臨床栄養学の知見を活かしたライフスタイルの提案 ▶ データに基づく栄養相談、サプリメント処方
医療機器のショーケース・研究室	
▶ 集積する研究施設や企業等との連携 ▶ 最新の機器を導入し、国産医療機器のショールーム	



(2) 滞在施設「ホテルメトロポリタン 羽田」

- 客室数：全237室、付帯施設：オールデイダイニング、ジム、ランドリー、屋上展望デッキ 等

4 ゾーンBについて

(1) 研究開発拠点(オフィスエリア)

- 「先端産業」の研究開発に取り組む企業を誘致

(2) 物販（商業店舗エリア）

- 来街者等のデイリーニーズに応える店舗を誘致



ゾーンB エントランスイメージ(2F)

5 ゾーンCについて

アート&テクノロジーセンター

芸術文化

芸術文化の情報発信と集う場所であり、

アート・文化などの取組みを支援

- ・ 多種多様なアーティストの創作・発表・交流スペース
- ・ アート・工芸が施設や働く人に及ぼす影響を分析・検証

主な機能

- ・ アーティスト作品の展示、創作活動の見える化
- ・ アートを作る体験型企画を提供
- ・ オフィス内にアートを感じられる空間を創出

先端技術・研究開発

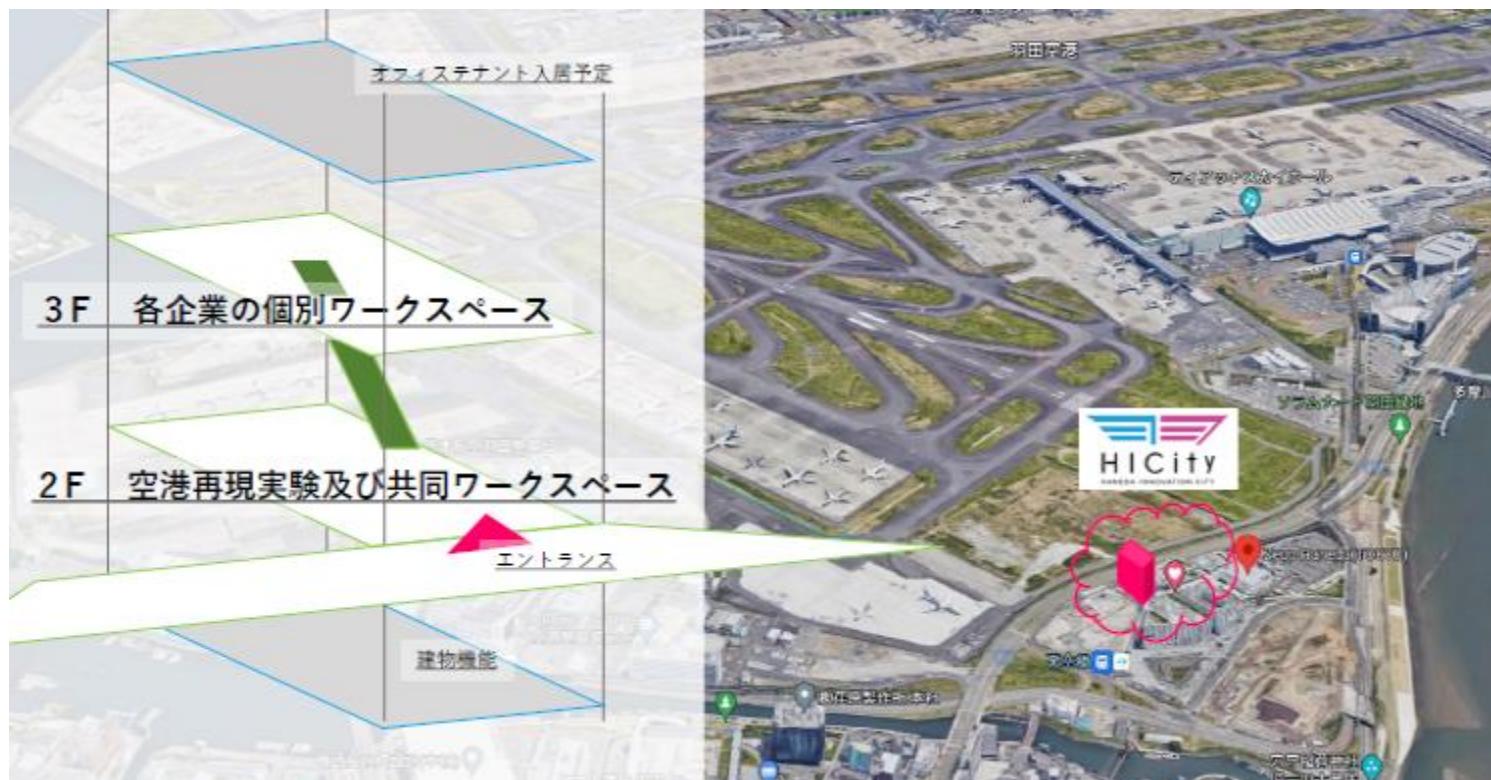
この先の未来の空港を描く、

新たな研究開発拠点

- ・ 「空港・環境・安全」など、様々な業界で卓越した技術を持つ企業が、“空港”や“空”を共通テーマとした研究開発と文化(アート)の効果を分析・検証する場

主な機能

- ・ 企業間連携による共創プラットフォーム
- ・ 空港内の一連のカスタマージャーニーを再現
- ・ 企業同士が繋がり、共創することによる新事業の展開



- 両分野の融合 -

Art=絵画、工芸などのモノ等



Technology=AI, デジタル, ロボ等

- ・ アート性豊かな空間設計
- ・ アートの価値を見える化
- ・ HICityの価値向上や情報発信

羽田空港、そして国内外の空港で展開

- 羽田から世界に高度な技術力と知見を発信
- HICity及び地域の持続的な発展に寄与